

まぜってみっぺしコーナー

「活動報告」

「介護保険」の使い方について勉強会を開催！



玉川中央通り「お元氣会」の皆様

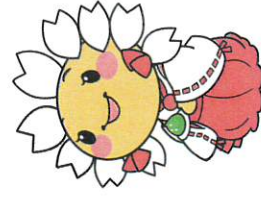
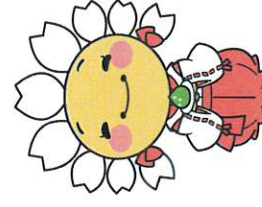


町内会の枠を超えた活動です。

「たんぽぽサークル」取材しました！



「石堂二集会所にて」
石堂・玉川
清水沢・向ヶ丘
地区など



脳トレーニングも継続中！

「大日向タブレットのつどい」



生活支援コーディネーター 佐藤 雅子

西部地区事業所連絡会

2月は、新型コロナウイルス感染が拡大傾向のためにオンラインでの開催とし、来年度の西部地区事業所連絡会開催に向けて意見交換をおこないました。

今回、オンラインでの開催は初めてでしたが、スムーズに行う事ができ、新型コロナウイルス感染の不安なく、安心して参加できましたとの意見が聞かれ好評でした。



3月

4月の予定

《昔語りの会》

令和4年3月22日 (水) 14：00～15：30

4月27日 (水) 14：00～15：30

冬場は日カ短いので時間は14：00～15：30といたします。

※開催場所はどちらも『西部包括』支援センターです。

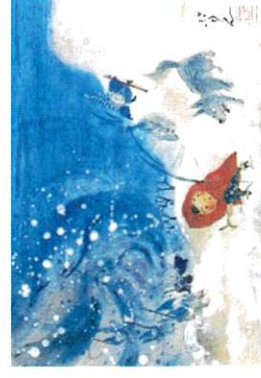
厚生労働省は、2009年に引きこもり対策として全国に「引きこもり地域支援センター」を設置しました。

「引きこもり地域支援センター」は各自治体やハローワークと連携しているため、中高年の引きこもりにも対応してくれます。

地域包括支援センターは福祉の総合相談窓口です。いつでもお気軽にご連絡ください。

社会福祉士 伊藤 信子

水水仙の4日 / 宮沢賢治



イーハトーブ通信

シリーズ
権利擁護⑮

『8050問題について』

「8050問題」とは、「80代」の親が「50代」の子供と同居して経済的支援をする状態をなぞらえた中年引きこもりを抱える世帯を象徴した言葉です。

引きこもりは、10代の若い世代に多い問題と思われがちですが、中高年の引きこもり人口も増加傾向にあります。内閣府が行った調査では、40～64歳の引きこもり人口は約61万人ですが、世間体を気にして家族が周囲に隠している引きこもりや、親の身の回りの世話をするという名目で同居しているパラサイトシングルも含めると、引きこもりはもっと多いと言われています。

<8050問題が起こる原因は…?>

- 家族の中で解決しようとしている

- ⇒ 家族の中で解決するのではなく、外に助けを求める勇気を持つことも大切です

- 対人関係や過剰労働が原因になる事もある

- ⇒ 身体ケアだけではなく心のケアも必要になります

<8050問題を防ぐポイントは…?>

- 見て見ぬふりは絶対にダメ！

- 家族以外の人に相談する

- 家族だけでは味方でいてあげることが大事